

浜松市議会議員

田口 章 後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053 - 447 - 3820
夜 053 - 440 - 7100

平成 21 年 10 月 1 日

創ろう！元気な浜松

21年度上半期 活動報告

田口 章 最近の議会活動から

「市民クラブ」幹事長に就任

国政で「 党の幹事長」と言えば、党内外の調整役としてスゴイ人のイメージですが、浜松市議会会派にも同様の仕事があります。スケールは違いますが、果たすべき役割は同じと心得、市政向上に努めます。

「厚生保健委員会」(常任委員会)で福祉向上に取組中

現在、福祉・医療を所管する委員会を担当しています。子育て支援や高齢者、障がい者福祉の充実、安心できる医療制度の確立など、課題解決に取り組めます。

浜松市には 5 つの常任委員会があり、部門ごとの政策をチェックしています。ちなみに 1 年目は「環境経済委員会(環境・産業政策など)」、2 年目は「建設委員会(まちづくり・交通政策など)」を担当しました。

「大都市制度調査特別委員会」では副委員長を担当

今、大きな課題となっている「地方分権」や「税財政」についての研究や、浜松市の総合計画の見直しを検討する委員会です。正直言って「副委員長」とはまだ名ばかりで、議会運営の勉強をさせていただいている状態です。政策はもちろん、議会活動(運営)も勉強あるのみです。

代表質問で市長と論戦(6月定例会)

6/8 に下記の項目を中心に市民クラブを代表して「代表質問」を行いました。最大のテーマは「行財政改革」です。今回は「本庁と区役所の役割の見直し」や「区と本庁、市と県の二重行政の効率化」「外郭団体(国の「特殊法人」)」など、仕組みの改革の他、財政改革や人材活用などについて、市の方向性を質しました。



- ・区制のあり方
- ・二重行政の効率化
- ・人材の活性化
- ・中期財政計画の見直しと資産経営
- ・公会計改革を政策につなげる仕組みづくり
- ・外郭団体等の適正な管理
- ・浜松版雇用プランの構築
- ・ものづくり教育を充実させるための連携強化
- ・外国人労働者への支援
- ・教育委員会のあり方について
- ・学校・地域・家庭の連携強化



平成 20 年度決算について

10 月 27 日～29 日に「決算審査特別委員会」を行い、おカネの使い方を精査しますが、概要を報告します。

私は、昨年に続き、今年も決算委員を担当。民間の目線で厳しくチェックします。

財政運営は“ますます”の評価・・・

一般会計の「実質収支」は 73.7 億円(61 億円)

「実質収支」の見方としては、「実質収支比率」という指標があり、一般的には 3～5%くらいが望ましいとされています。浜松市の「実質収支比率」は 4.0%となり、一般的には、標準的な予算執行だったといえます。



【昨年の決算審査のヒトコマ。資料の山と格闘しました】

× 厳しい現状・・・「市税収入」は 1369 億円(1374 億円)と 5 億円の減少

「法人市民税」は 26 億円の減(162 億円、 188 億円)。今年度はさらに厳しくなりますし、来年度以降は、法人だけでなく、「個人市民税」への影響も不可避です。

× 油断できない・・・「経常収支比率」は 86.1%(86.4%)と高止まり

この指標は、人件費・扶助費(社会保障費等)・公債費(借金返済)など、どうしても払わざるを得ないおカネの比率のことです。数値が高いと財政運営が硬直化して政策的事業にお金が回せないこととなります。

今後、少子高齢化が進み、生活保護世帯が増える中、扶助費の増加は不可避ですので、人件費の適正化や借金を減らす取り組みが必要となります。

着実な財政運営・・・「総市債残高」は 5380 億円(5493 億円)に削減

厳しい財政事情ではありますが、113 億円の借金削減を行いました。

ちなみに昨年度末からの推移は、次の式となります

$$\text{残高} - \text{償還(返済)} + \text{借入} = \text{残高}$$

それぞれ数字を入れると $5493 - 540 + 427 = 5380$ 億円 となります。

中期財政計画では、20 年度末 5440 億円を予定していましたので、計画比 60 億円の前倒しです。さすがは、「こどもにツケを残さない」やすとも市長の財政運営です。

最近の市政課題について

地域協議会の廃止、区協議会の充実

9 月議会の課題の一つに 5 月議会から“継続審査”となっていた「地域協議会の廃止」に関する条例改定案の審議がありました。

採決の結果は、賛成多数により「可決」でしたが、議長を除く議員 53 人中、賛成 40 人、反対 7 人、退席 6 人というものでした。

反対は共産党 4 人と一人会派 3 人。退席は、党派別では、自民党 3 人、創造浜松 2 人、改革はままつ 1 人で、選出区別では、天竜区 3 人、北区 2 人、南区 1 人でした。

「やすともマニフェスト」のひとつでもあるこの議案は、簡単にいえば「地域協議会を廃止し、区協議会に機能を一本化する」というものです。

私は賛成しました。高齢化、過疎化が進む北遠地域への一定の配慮は否定しませんが、住民の声を代表する機関が、旧市町村単位の地域協議会である必要性は無いと思います。

代替組織の検討もされていますが、区協議会の充実をはじめ、議会としても北遠に対する理解を深める活動に取り組むなど、さまざまな視点から住民の不安解消に努めることはできると考えます。

私自身も、北遠地域への理解を深め、交流促進や地域課題にも取り組んでいきたいと思っています。



【廃校の跡。過疎化が進む天竜区は区を単位とした活性化が必要。交流人口増など浜松市民全体の協力が不可欠です】

マニフェストは政治を変える

衆議院選挙の結果、「政権交代」が実現しました。「政治なんて誰がやっても同じじゃないの…」という人もいるかもしれませんが、それは違います。トップが代われれば政治は変わります。

身近な好事例が浜松市です。浜松では 2 年半前の市長交代で、おカネの使い方が変わりました。「これまでやってきたことを、同じように続ける」という政治体質を変えたのは「マニフェスト」です。以下、「やすともマニフェスト」による、この 2 年半の特徴的な変化をお伝えします。

国政も、「民主党マニフェスト」でガラリと変わることを大いに期待したいと思います。私たちみんなで進捗をチェックしていきましょう。

着実な進歩・・・「こども第一主義」

やすともマニフェストの最大のポイントは「こども第一主義」。子育て世代やこどもの教育環境を支援するために、さまざまな取り組みを行っています。

【医療費助成制度の拡大】「就学前」までだった助成期間を「中学生」までに延長します。入院助成は 20 年度にすでに実施。通院助成も 22 年度の導入をめざし制度設計を進めています。

【学校施設の耐震化】前市長が「27 年度までかかる」としていた施策を「23 年度まで」に前倒し。優先順位のつけ方次第で、施策は進みます。

この他、産科医療の充実や 30 人学級の導入なども進んでいます。一方、保育所や放課後児童会の待機児童解消や外国人のこどもへの教育支援など課題もありますので、さらに議会としてチェックして、「こども第一主義」の進展を図っていきます。



【早急な対応が求められる外国人児童への支援】

広大な市域にはまだまだ課題も・・・「暮らし満足度向上」



【支援が必要な障がい者授産施設はたくさんあります。写真は「遠州みみの里」。自動車総連からエブリイを寄贈しました】

左ページの「区協議会への一本化」もマニフェストの「ひとつの浜松」をつくるための項目でした。一本化の方向は決まったものの、全国で 2 番目の広大な都市ならではの課題も山積しています。

過疎化が進む中山間地の公共交通をどうするのか。松菱跡地など中心市街地の再生をどう進めるのか。高齢化が進む中、安心の医療や介護施策はどうか。障がい者の就労支援は・・・。

暮らし満足度向上のためにはまだまだおカネが必要です。そのためにも行財政改革は欠かせません。

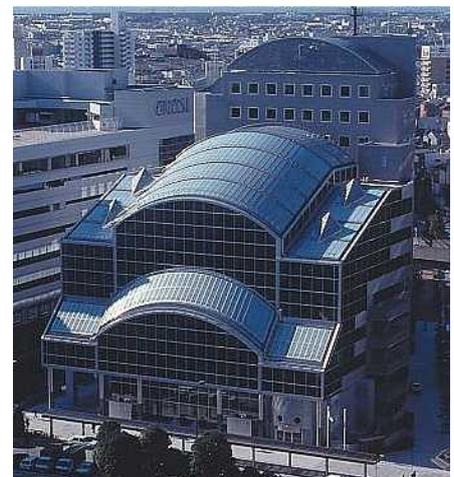
スピードある行財政改革

負債(借金)の削減やフォルテの清算、資産経営など、この 2 年半で“こどもにツケをまわさない”ための行財政改革も進みました。

一方、その推進役として、浜松市政を鋭くチェックしてきた「行財政改革推進審議会(行革審)」は、8 月をもって任期満了となり、鈴木修会長以下、企業経営者と労働者代表の委員は、2 期 4 年の任期が一区切りとなりました。

本来ならば、こうしたチェック機能は議会の役割であることから、今後、私の最重要責務として、民間の視点で税金のムダをなくし、市民生活の向上に努めていきます。

【解体されたフォルテ】



もっと伝えたい浜松の魅力(田口のお薦め)

春埜杉(春野町)

右の写真は「春埜杉」。樹齢 1300 年、高さ 43m、幹の周囲 14m の巨木です。まわりの雰囲気もあり、とても神秘的でオーラを感じます。

浜松市街からクルマで約 2 時間。天竜区春野町と森町との境、深い山の奥にあります。

すぐ近くまでクルマで行けますので、ぜひ足を伸ばしてはいかがでしょうか(詳しいことを知りたい方はお問い合わせください)。あわせて、北遠の物産品もお楽しみくださいね。



【おいしい「とち餅」。お薦めです】

とち餅 (水窪町)

水窪の町並みは風情があります。

(写真左)

歴史を感じる商店街には、私の知っている

限り、「とち餅」を売っているお店が 2 軒あります。ほろ苦い自然の味をぜひお楽しみください。

【旧道を通ると新たな発見が…(水窪町)】



久留女木の棚田(引佐町)

浜松市には「日本の棚田百選」が 2 ヲ所あります。ひとつは写真の「久留女木の棚田」。もうひとつは天竜区の「大栗安の棚田」です。日本の原風景ともいえるこうした景観を大切にしたいものです。また、天竜区龍山町には「瀬尻の段々茶園」という急峻な傾斜地に作られた茶畑があります。R152 号線沿いですのでご覧ください。

【久留女木の棚田(引佐町)】



9 月の主な議会活動

- 02(水) 大都市制度調査特別委員会
- 04(金) 本会議(9月定例会開会)
- 08(火) 市議会政務調査研究会
- 11(金) 全員協議会・本会議
- 14(月) 本会議
- 15(火) 本会議
- 16(水) 故古橋広之進氏 市民葬
- 17(木) 厚生保健委員会
- 18(金) モザイカルチャー開会式
- 24(木) 多文化共生勉強会
- 30(水) 全員協議会・本会議(最終日)

10 月の主な予定

- 01(木) 他市決算委員会傍聴
- 02(金) 公会計改革会議 2009(東京)
- 03-04 入野公民館まつり
- 07(水) 労福協市長要望
- 10-11 入野地区秋まつり
- 14-16 厚生保健委員会視察(尾道・佐世保・北九州)
- 18(日) 労福協まつり、大平台体育大会
- 19(月) 会派 22 年度予算 市長申し入れ
- 21(水) 水窪住民との意見交換会
- 25(日) 入野町民体育大会
- 27-29 決算審査特別委員会
- 31(土) 入野公民館まつり

【編集後記】

行楽の秋、おまつりの秋、スポーツの秋です。いろいろな地域のおまつりを楽しむとともに、魅力いっぱいの北遠を訪ねてみませんか? 高速道路が安いからと…ムリして東や西に行くのではなく、大きくなった浜松をじっくりお楽しみください。みなさんのお気に入りスポットがあればぜひ教えてください。(草)